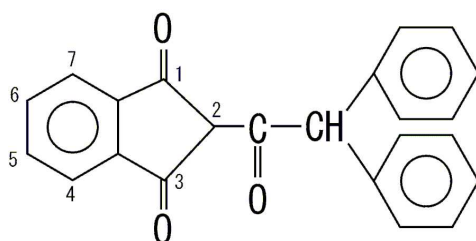


2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオンを含有する製剤の
毒物及び劇物取締法に基づく毒物及び劇物の指定見直について



名称

(英語名) 2-diphenylacetyl-1,3-indandione

(日本名) 2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン

経緯

現在、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオンは毒物及び劇物指定令
第一条の13の2号に毒物に、0.005%以下の製剤は第二条の47の2号で劇物にそ
れぞれ指定されている。

今般、新たに製剤の毒性試験が実施され、試験結果が提出されたものである。

用途

殺そ

物理化学的性状

別紙1を参照

毒性

別紙2を参照

事務局案

2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン及びこれを含有する製剤(ただし、
2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.1%以下を含有するものを除
く。)は、「毒物」に指定し、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.1%以
下含有する製剤(ただし、2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン0.005%
以下を含有する殺そ剤は除く。)は、「劇物」に指定することが適当と思われる。

物理的・化学的性質

項目		
名称	(英語名) 2-diphenylacetyl-1,3-indandione (日本名) 2-ジフェニルアセチル-1,3-インダンジオン	
分子式	C ₂₃ H ₁₆ O ₃	
CAS No.	82-66-6	
化審法番号		
分子量	340.37	
物理的・化学的性状		
性状	淡黄色、結晶性粉末	
沸点		
融点	145～147℃	
密度 (g/cm ³)	1.281	
蒸気圧	2.1×10 ⁻⁴ Pa (20℃)	
溶解度 (g /100g)	ヘプタン	0.18
	アセトン	2.9
	エタノール	0.21
	クロロホルム	20.4
水溶解度 (g/100g)	1.18×10 ⁻⁴	
反応性		
安定性	融点以下では安定	
引火性及び発火性		
HS コード	3808.90	

毒性

原体

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂LD ₅₀ : 1.93mg /kg ♀LD ₅₀ : 2.70mg /kg	北海道立衛生研究所(1971)
	ラット	♂LD ₅₀ :43.3 mg /kg ♀LD ₅₀ :22.7 mg /kg	鳥取大学農学部(1972)
	マウス	♂LD ₅₀ :30.0 mg /kg ♀LD ₅₀ :28.3 mg /kg	鳥取大学農学部(1972)

製剤(0.5%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂♀LD ₅₀ :500mg /kg	(財) 化学物質評価研究機構 (GLP 2006)

製剤(0.1%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経皮毒性	マウス	死亡率 : 6700mg/kg のみ10%	日本環境衛生センター (1972)
眼刺激性	ウサギ	刺激性あり(72時間後には 解消)	日本環境衛生センター (1972)

製剤(0.005%)

試験の種類	供試動物	試験結果	備考
急性経口毒性	ラット	♂♀LD ₅₀ : 5000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1987)
急性経口毒性	マウス	♂♀LD ₅₀ : 5000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1987)
急性経皮毒性	マウス	♂♀LD ₅₀ : 2000 mg / kg 以上	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1991)
皮膚一次刺激性	ウサギ	陰性	(株) 化学品検査協会 (GLP 1987)
皮膚感作性	モルモット	陰性	(株) 臨床医科学研究所 (GLP 1991)